



パナソニック、フロートプランに対応する洗面化粧台

パナソニック エコソリューションズ社は12月22日、新築・リフォーム・マンションリノベーションに対応する洗面化粧台「C-Line(シーライン)」をモデルチェンジして発売する。近年の洗面化粧台は、マンションのトレンドを受け、デザイン性を重視したカウンタータイプの洗面化粧台が採用される傾向が大きくなっており、洗面からバスルームへと直接つながるプランなどが既に標準的なプランのひとつになっています。一方、マンションリフォームでは壁との納まりを配慮する必要があり、サイズの自由度が採用のポイントとなる傾向があります。スタイリッシュなフロートプランや、最大1700ミリ間口まで対応できるカウンターをラインアップし、リフォームやマンションリノベでの対応力を高めた。また、化粧がしやすいLED照明やタッチレス水栓などの機能を充実した。16万6500円(フロートプラン1面鏡幅900、ホワイト)。

情報提供: 新建ハウジング

再生エネ買い取り制度見直しへ 経済産業省が論点提示

経済産業省は10月15日、総合資源エネルギー調査会の省エネルギー・新エネルギー分科会新エネルギー小委員会で、再生可能エネルギーの買い取り制度の見直しに向けた論点を提示した。導入拡大に向け現状の問題を整理し課題について意見を交わした。年内の一定の方向性を示す予定。買い取り制度については、急激な買い取り申請により一部で受け入れ制限がかかっている。九州電力などが接続に関して一時保留するなど不透明な状態にあり、制度自体に対する疑念が生じている。こうした状況をうけ、複数の委員からは接続保留は制度の信頼を根幹から揺るがす大きな問題として、早急に対応すべきとの声があがった。抜本的な制度改正が必要との意見もあった。今回、経産省が示した論点では、価格が引き下げられる年度末の駆け込み問題への対応として価格改定を半年ごとに短縮する案や、価格決定に関して、入札制度で効率のいい事業者をもとにした買い取りに変更するなど市場原理を導入した方法を検討する案などが示された。太陽光発電が9割を占めるという偏重状態への対策も検討していく。非住宅太陽光発電の設備の受け入れをやめるという案や、地熱・バイオマスといった天候に左右されない「ベースロード電源」となるエネルギーの導入を推進するため、電源別に枠を設ける考え方が示された。認定済みの設備が未稼働の場合は、稼働時の買い取り価格を適用することも検討する。経産省は同小委員会の下に電力受け入れに関するワーキンググループを設置。16日から電力会社の受容能力について検証を進める。今後、大きく制度が変わる可能性がある。

情報提供: 新建ハウジング

木造建築に大型化の波 認知度高まり需要顕在化

今年度は、全国で大型木造建築物の建設ラッシュだ。三井不動産が千葉県柏市の「柏の葉スマートシティ」に完成した野菜を生産する植物工場のほか、東北では宮城県に国内最大規模となる純木造耐火2階建ての介護施設、山形県南陽市でも1300人収容できる全国初となる木造耐火の文化会館の建設が進んでおり、共に近く完成を迎える。大規模木造建築は、高齢者施設や保育・幼稚園といった需要が底堅く、また公共建築物等木材利用促進法や環境志向の高い商業施設などのニーズも追い風。更に建築費の高騰に職人不足といった事情も加わり、RCや鉄骨造が主流だった大型建築物の市場で「木造建築」の存在感が高まっている。

情報提供: 住宅新報

アイカ、薄型玄関収納「スマートエントランス」発売開始

アイカ工業株式会社は、靴を横置きし収納することで薄型化し、かつ高さに対応することによって、玄関間口のスペースを確保することができる薄型玄関収納、「スマートエントランス」を10月20日より販売を開始します。「スマートエントランス」は、リフォーム・リノベーションに最適な商品です。特長は男性シューズの幅の目安を最大240mmと設定し、奥行きを264mmしシューズを横置きして収納します。扉の表面材には意匠性と自由度をもつ内装建材として高いメラミン化粧板を使用しています。設計価格 : 89,000円～ (H1800、D264、W800タイプ、消費税抜き)

情報提供: アイカ工業